

# Weekly Bulletin 2024-2025



RI会長  
ステファニー A. アーチェック



## 静岡東ロータリークラブ

会長/長島秀親 幹事/島 武志

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
長島秀親

第3117回 例会 令和6年11月21日

- 《司会》 島 武志 君
- 《合唱》 それでこそロータリー
- 《ソングリーダー》 生形 秀之 君
- 《ゲスト》 ロータリー財団委員会副委員長 森田英貴様
- 《ビジター》 なし
- 《本日のお祝い》

- ・お誕生日
  - 12月 3日 長島秀親君
- ・結婚記念日
  - 11月22日 松山剛之君
  - 11月24日 高柳正雄君
  - 11月30日 宮崎貴久君
  - 12月 4日 中島浩二君

### 《会長挨拶要旨》 長島 秀親 会長

今年の2月8日~11日に某団体の会員26名で、『日本を守る！』日本最西端、石垣島、与那国島に沖縄研修視察旅行に行って参りました。今回の視察旅行の目的は、日本を命がけで守ってくださっている人たち(自衛隊員)に感謝の気持ちを伝えることです。

尖閣諸島や台湾有事だのでは、今日戦争になってもおかしくないとの思いで、石垣島の中山義隆市長が「日本の国を守る！」と命を恐れず中国に対し、最前線の自衛隊石垣島駐屯地を昨年の3月に開設され、570名の隊員が駐在されております。石垣島では石垣市役所にて中山義隆市長を表敬訪問し、中山市長自ら会議室にて講演をいただきました。その後、陸上自衛隊石垣島駐屯地を視察させていただきましたが、自衛隊の視察では私たちの様な民間団体の視察受け入れは初めてで、施設内会議室での説明では石垣島駐屯地八重山警備隊長の井上雄一郎隊長自らが迫力のある説明をしていただきました。昼食も井上隊長を含む隊員の皆様と一緒にカレーをご馳走になりました。昼食後は施設外で隊員の方々により自衛隊の特殊車輛や機材の説明も丁寧にしていただきました。隊員の皆さんの命がけの覚悟と、石垣市の市民に対して理解をいただくための涙ぐましい努力には頭が下がりました。宿泊ホテルでの私達の夕食会には再び中山市長がお越しくださり、中山市長からは、本気で日本の防衛について考えていただき有難いと感謝のお言葉をいただきました。翌日には日本最西端の与那国島に渡り日本の防衛の最前線を自分たちの目で確かめることが出来ました。台湾と与那国島の距離は111kmで今回は確認できませんでしたが、天気が良ければ台湾が目視で確認できるとのことでした。今回の視察研修旅行で、この国土の勇者(自衛隊員)にお会いでき、直接感謝とお礼を申し上げることができ、本当に良い研修旅行でした。石垣島駐屯地の全隊員は、自らの意思と決断で石垣島駐屯地駐

在を志願されたらと隊員の方にお聞きしました。隊長を含め隊員の多くが九州鹿児島県出身とのことで、やはり薩摩の方々は血の気が多いように感じました。

与那国島では野生の与那国馬が放たれていて、道路や至る所に馬の糞が散乱していて、私個人は衛生的にも良くないのではと感じ、これは何とかならないものかと思いましたが、観光で食べている島ではないので住民の方が良ければそれでいいのかなとも思いました。

今回の視察研修旅行に参加した、26名のメンバーはほんの少しだけ右寄りの人間ですが、衆議院議員の高市早苗さんに比べれば赤子同然のような者ですのでご安心ください。因みに山下会員も視察旅行に参加をしています。

沖縄研修視察旅行後に某団体の代表顧問から送られてきた、『尖閣1945』という本を直ぐに読みました。当然のことですが尖閣諸島は日本の領土です。それを改めて再認識ができたと共に、太平洋戦争の悲惨さや、当時の石垣島の勇敢な大人たちや青年たちの奇跡の多くが書かれている素晴らしい本でした。どこかのタイミングで、この本の紹介をさせていただきたいと思っています。

以上、本日の会長挨拶とさせていただきます。

### 《クラブフォーラム》

ロータリー財団委員会 副委員長 森田英貴様  
「グローバル補助金奨学生について」

浜松南ロータリークラブ所属で10年のロータリー歴となります。副委員長を務めて約3年、地区財団も7年目となります。昨日は藤枝、今日はこちら静岡東、明日は浜松東、先週も地区大会や沼津北など今月財団月間なので回っております。

今日はグローバル補助金奨学生についての卓話ということでお時間いただきお話をさせていただければと思います。

まず財団委員会の役割は、①ロータリー財団の理解を深める  
②財団補助金をクラブの奉仕事業に有効に使うサポートをする  
③ロータリー及び財団の奉仕事業のために寄付を募る、この3点です。

ロータリー財団の使命は、皆様からのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています。100年以上も前に設立されて以来、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金提供し、人々の健康状態を改善し質の高い教育を提供し環境保護に取り組み、そして貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

そして今年ステファニー会長のもと、共通の目的に結束し、互いに支え合い目標に集中することで私達の力が最大限に発揮されます。この困難な時代にこそ積極的平和を広げていくことが重要です。

活動のリソースは、アイデア・人材・資金です。そのう

ちの資金をバックアップするのがロータリー財団です。奉仕する財団である以上、奉仕活動には資金が必要、そして資金を集め再配分するのがロータリー財団の役割です。

収益規模は皆さんの会費がおよそ1億627万ドルに対して、寄付が3億390万ドルと3倍となっています。国際ロータリーの資金の源泉は義務となる会費、ロータリー財団の資金の源泉は寄付です。財団の補助金は2種類あり、地区補助金(地域社会のニーズに取り組む奉仕事業を支援など)とグローバル補助金、これは国を超えた人道的奉仕活動の推進で、プロジェクトや職業支援、そして今日説明する奨学金です。ちなみに地区補助金は中村G年度68クラブで1639万円です。

グローバル補助金事例①スリランカに給水タンク等7万ドル、事例②サンパウロでベーカーリー教室実施3.4万ドル、事例③カトマンズでトイレ整備8.4万ドル等を紹介します。

資金開発は、年次基金、恒久基金、使途指定寄付の3つ、年次はシェアシステムと呼びDDF(地区財団活動資金)とWF(国際財団活動資金)の2種類、全体の66.5%を運用しています。恒久は、運用収益を事業資金としDDFとWFに50%づつ、使途指定はポリオ・プラスやロータリー平和フェロシップ等の支援に回されます。

ロータリー財団の寄付は、不特定でなく「未来のロータリーの奉仕活動」への貢献ということです。

静岡東RCの実績は、財団へ年次基金8700ドル、恒久基金1000ドル、ポリオプラス他1740ドルとすべて目標を達成いただいています。

寄付と認証はピン等が贈られます。個人やクラブに対してです。財団の友、ベネファクター、ポール・ハリスソサエティーなどです。

そして最重要活動にしています「ポリオ・プラス」についてです。ポリオのない世界まであと少しです。40年以上の戦いを続けています。ロータリー活動が世界を動かしています。ビル・ゲイツもタイムズ誌でポリオ根絶の活動を評価しています。

ロータリーカード(オリコカード)の活用も11,500万となり還元金67万が寄付になっています。生ワクチンの11,177回分となります。

小泉年度でも各クラブサポートなど5つの目標を掲げ取り組んでいます。引き続き寄付年度目標を達成できるよう働きかけてまいります。

本題の奨学生支援も10年で15人となっており、5万ドルを上限、昔なら500万、今なら750万程です。応募する方は優秀な方が多く国連で活躍したりしています。

今後もロータリー財団へのご支援をよろしくお願いいたします。

#### 《所感》

ひとくちにロータリー寄付といっても様々は分類があり、そしてそれぞれに歴史があることを改めて知る機会となりました。そしてこれが世界的にも評価されていて、未来に繋がっていくことを肝に銘じて活動を続けていきたいと思えます。

#### 《スマイル報告》

竹中正俊君 新入会員歓迎会の御礼  
後藤京子君 新入会員歓迎会の御礼。佐光会員の見事な運営に感謝  
近藤雅文君 パルシェの新幹線プラモニュメント新設、アスティール 堂島ロール「モンシェール」新規オープンを祝って  
生形秀之君 X'mas例会プレゼント担当です。イスワンGPが無事終了、ここからは例会プレゼント集中です。よろしくお願いいたします。  
長島秀親君 本日と12月12日早退のお詫び

#### 《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
11/21						
11/14	57(55)	39	16	4		
11/7	57(56)	43	13	3		

(会報作成 谷口智康)

